

授業科目 小児発達保健論

【担当教員名】 松井 由美子		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 本科目では、基本となる子どもの発達や特徴を学び現代の子どもの生活に目を向けながら小児保健の現状と意義について考察する。					
【行動目標：SBO】 1) ヘルスプロモーションの概念を説明できる。 2) 子どもの健康増進のための社会資源を列記できる。 3) 子どもの病気・事故予防の取り組みについて説明できる。 4) 成長・発達の原則を理解しアセスメントできる。 5) 小児各期における成長・発達の特徴を述べられる。 6) 小児の栄養の重要性について説明できる。 7) 子どもの健康増進や正常な発達を阻害する因子を取り上げその対策について考察する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業ガイダンス・小児保健の基本概念			1～7	講義
2	子どもの健康増進に向けた政策や社会資源の活用			2、3	講義
3	子どもの病気・事故予防の取り組み			2、3	講義
4	子どもの成長・発達の原則			4	講義
5	小児各期の成長・発達の特徴			5	講義
6	子どもの栄養			6	講義
7	子どもの健康問題			7	講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		小児看護学概論	二宮啓子、今野美紀	南江堂	2009・3,000円＋税
参考書		国民衛生の動向 2013 日本子ども資料年鑑 2013			
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験 (50%) レポート (30%) 出席・態度 (20%)			【履修上の留意点】 統計資料からみえる子どもとその家族の課題について考えましょう。		